

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」福岡空港校		
○保護者評価実施期間	2025年11月17日 ～ 2025年12月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年11月17日 ～ 2025年12月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○訪問先施設評価実施期間	2025年11月17日 ～ 2025年12月20日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5 (回答数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型事業所として、放課後等デイサービス、児童発達支援を運営しているため、保育所等訪問を併用している利用児に一貫した療育を提供できること。	・保護者様には訪問先での様子や先生が課題と感じていることを情報共有し、放課後等デイサービス、児童発達支援の個別療育で支援できることを協議しています。 ・訪問先では放課後等デイサービス、児童発達支援の個別療育での様子や支援方法を助言し、保護者様のニーズを情報共有しています。	今後は利用児や訪問先を増やすことで、共有できる情報や活動の幅を広げていきます。
2	経験豊富な訪問支援員による訪問	・児童指導員や保育士として5年以上経験のある訪問支援員が園や学校へ訪問し、発達障害などを抱えるお子様との関わり方や環境設定について助言しています。	今後は訪問支援員としての経験を積んでいくことで、より専門的な助言ができるようにしていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の観察や訪問先の先生への助言などの間接支援をしている時間の割合が多いこと。	・訪問先の方針や訪問支援員による提案・交渉が少ないことがあげられます。	今後は集団活動への参加や他者との関わりにおいて、訪問先に無理のない範囲で直接介入できる支援方法を提案していきます。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」福岡空港校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 5

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3			1		行動観察の結果を記録することが多いため、今後は必要に応じて学習時に活用できる補助教材などを準備していきます。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					契約時やお問い合わせの際に、丁寧な説明を心がけています。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					引き続き、訪問支援の頻度や時間について、保護者様や訪問先と相談しながら調整していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					お子様の発達特性を理解した経験豊富な訪問支援員が訪問を行っています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				細かく話を聞いた上で作成されていて、助かっています。	引き続き、保護者様との面談やアセスメントに基づいて、お子様に合わせた個別支援計画を作成していきます。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					都度、訪問先や担任の意向を確認しながら、個別支援計画に反映しています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4				園との共有をして頂いて、説明も分かりやすいです。	引き続き、訪問先の意向を確認しながら、情報共有や助言、環境調整等を行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					契約時の説明を徹底しています。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					モニタリングや面談をもとに作成した保育所等訪問支援計画について説明し、同意のご署名を頂いた上で支援を提供しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4				参加はしていません。	相談への助言や情報提供が主になっているため、今後は研修会や相談会の実施を検討していきます。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					今後も随時対応していきますので、お気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1				契約時に苦情等の相談窓口について説明しています。苦情報告を受けた際は、事業所内で内容を共有して原因究明や対策を行い、保護者様へ報告いたします。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3	1				訪問時や電話連絡の際に訪問先の先生からの相談に応じて、助言や支援方法の共有をしています。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4				訪問後のLINEや児童発達支援・放課後等デイサービスの利用時に、訪問先での様子を共有しています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3			1	月2回のブログにより、活動やイベントの様子などを発信しています。事業所評価の結果については、ホームページに掲載しております。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			1	個人情報を扱っているパソコンや書類等は、鍵付きの書庫への保管を徹底しています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2			2	緊急時の対応について、訪問先へ随時確認し、連携を図っていきます。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1	安全計画の策定や取り組み内容について、エントランスへの掲示などによって周知していきます。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3	1			児童発達支援や放課後等デイサービスでのお子様との信頼関係を維持しながら、訪問支援を継続していきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4				

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026 年 2 月 14 日

こどもサポート教室「きらり」福岡空港校

利用児童数 5

回収数3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			お話しできる時間は限られていますが、園と療育先での様子を共有できています。	お忙しい中、共有のお時間頂きありがとうございます。今後も、情報共有や助言を継続していきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2	1		訪問の際には主に見学なので、あまり機会がないですが、取り組みなど情報提供してくれます。	間接支援が多くなっているため、今後は無理のない範囲で直接支援の方法を提案していきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			困りごとなど伝えた際には、療育先の様子を共有してくれます。 訪問時に気付いた点や改善点などを教えてくれます。	引き続き、個別療育での支援方法や環境調整について、必要な情報をお伝えしていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			生活の中でのアドバイスをくれ、園生活にも取り入れさせていただいています。	引き続き、課題や困りごとの軽減につながるような支援補助等を行っています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			本児も訪問の際には、安心している様子を見せています。 園と家、事業所での様子に違いがあり、本児の色々な面を情報共有できて連携しやすいと感じています。	引き続き、訪問先でのご要望に応じた支援を提供し、関係機関との連携を図っていきます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
なし						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」福岡空港校					公表日		2026 年    2 月    14 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点				
環境・ 体制・ 整備・ 運営・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○							
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○							
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○							
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○							
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	第三者による外部評価は実施していません。	今後も第三者による外部評価を実施する予定 はありません。				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○							
適切な支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○							
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○							
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○							
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○							
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		訪問先での行動観察の結果や気になる点を記 録しています。	今後は、より標準化されたツールを用いてお 子様の状況を確認していきます。				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○							
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○							
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○							
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○							
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○							
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○							

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○	保育所等訪問を実施している他事業所との情報交換の機会がありますが、専門機関の助言や外部研修を受ける機会は確保できていません。	今後は、関係機関と連携するイベント等の実施を検討し、専門機関の助言や外部研修を受ける機会を確保していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		訪問後のLINEや直近の通所時に情報提供を実施しています。	今後は、保護者様を対象とした相談会や研修会の実施を検討していきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		月1回程度の小集団イベントや年1回程度の保護者会を実施しています。	今後は、保護者様同士で交流できる機会を増やしていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先で直接協議することが難しい場合、小学校は給食の時間帯、園は当日の夕方などに電話にて情報共有を行っています。	引き続き、訪問先の事情や必要に応じて、現場での協議や電話での情報共有を行っています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			